

# 事業報告書

令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

## ●建物共済

### （引 受）

区分	項目	加入棟数	共 済 掛 金		1棟当たり 平 均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金		
		棟	円	円	円	
建 物		34,184	376,748,160,000	228,218,027	141,662,456	11,021,000 火災共済：29,531棟 総合共済：4,653棟

○ 前年対比：共済金額 97.4%

○ 引受概況：高齢化による農家数の減少などにより、加入棟数は火災共済で1,450棟の減少となったが、総合共済では自然災害補償ニーズの高まりにより541棟の増加となった。

### （事 故）

区分	項目	事故棟数	加入総共済金額	共済金	備 考
		棟	円	円	
建 物		350	4,282,810,000	97,358,677	火災：7件、落雷：120件、建物の外部からの物体の落下等：14件、車両の飛び込み：41件、給排水設備の事故に伴う水ぬれ：3件、水道管凍結：10件、盗難によるき損又は汚損：2件、雪害：103件、風水害：50件

○ 事故概況：前年度に比べ事故棟数129棟、共済金58,241千円の増加となった。

事故の内訳は、落雷の発生件数が全体の34.3% 9,574千円、雪害が29.4% 25,613千円、車両の飛び込み等が11.7% 7,578千円、風水害が14.2% 12,261千円、建物外部からの物体の落下等が4.0% 372千円、盗難による毀損又は汚損が0.6% 20千円、火災が2.0% 41,516千円、給排水設備の事故に伴う水ぬれが0.9% 149千円、水道管凍結が2.9% 275千円であった。